

令和元年度「村長と話そう むらづくり懇談会」会議録（概要）

- 開催日時：令和元年10月25日（金） 午後7時～午後8時40分
- 開催場所：下大池公民館
- 参加者：8名

【平成30年度決算説明後の意見交換】

（意見等）

避難場所である下大池公民館の収容人員は、生涯学習カレンダーに150人と記載されているが、本当に収容できるのか？また、全下大池区民が対象であるのに実際150人で済むのか？

先日の台風19号で「避難準備・高齢者等避難開始」を初めて経験し、実際公民館への避難が可能なのか不安になった。今回の村の対応で感じたこと、この先どのようにしていく予定なのか聞きたい。

（村長）

台風19号の時には、「それぞれの判断で」という紛らわしい表現で「避難準備・高齢者等避難開始」を出した。村は、ハザードマップ、警戒レベル等を十分理解したうえで、関係機関と情報共有し、警報が出た場合には具体的にどの地区が危ないのかを示した勧告や指示を出さなければいけない。

下大池の公民館は、実際150人収容できないのが現実である。

関係者による反省会を行なっているが、要支援者への対応も含め、今回を教訓に研究し、改善したいと考えている。

（意見等）

警報や村からの放送について、全ての村民に確実に届く方法を考えていかなければならないと思う。

（意見等）

今回の「避難準備・高齢者等避難開始」については、早めに出していただいて非常に良かった。

村のホームページに水害に関するハザードマップがつけられなかったもので、分かりやすく掲載してほしい。

今年の総合防災訓練で「ひなた」に参加し、避難所の開設・運営という部分で大変勉強になった。避難所の運営の仕方についてガイドラインがあると良いのではないかな？

別の自治体で実施している「シェイクアウト」という訓練も取り入れたらどうか？

(村長)

ご指摘どおり、水害についてのハザードマップは掲載されていない。避難に役立つものを研究したい。

10月30日に開催される防災訓練の会議で、台風19号の対応も含めて、今頂いたご意見も紹介したい。

(意見等)

城ヶ沢連絡班の上に、業者が放置してあるゴミがある。ハザードマップではその場所がレッドゾーンになっており大変心配している。

村で処理するのは無理だと承知しているが、近くに住む私たちにとっては、ただ危ないですねだけでは済まされない。村も一緒に考えてほしい。

(村長)

林務の担当者が大分前に地主の方と話をしたが、今はどこに行ったか分からなくなってしまっている。所有者を再確認するなど、区長を通じて連絡する。

(意見等)

風食の問題について、村でも取り組んでいるのは承知しているが、ぜひ実効性のある対策を早く考えていただきたい。住民の日常生活だけでなく、臨空工業団地の中にある自動車関連の会社では、砂埃による被害の修復のための費用、損害保険料など、企業活動にも影響がある。

(村長)

2～3年前までは「自然のことだから」という風潮が強かったが、研究会を立ち上げたことで、JAの指導員の皆さまも真剣に考えていただいている。山形村だけでなく、朝日村でも作物を作っていない期間に麦を植える等の対策を行っている農家もあり、少しずつ動きが出ている。他にも有効な情報を得られるようアンテナを高くしていく。

(意見等)

(ご自身が農家) 風食問題は、40年ほど前から始まっている。「これをやれば絶対だ」という方法はないが、農家も意識を少しずつ変え、できることを積み重ねていくことが大事だと思う。

(意見等)

遊休農地の関係について、今は良いが、今後田んぼを維持していくのが難しくなってくるのではないか。梓川では、地域の中でグループを作り、稲刈りなどを担うような組織があるようだが、JAや行政とタイアップして同じようなことが村でもできるのか？

(村長)

遊休荒廃農地の田んぼを減らす目的であれば不可能ではないと思うが、今すぐ実施するというのではないように思う。情勢の変化を見極めながら検討していきたい。

トラクターやコンバイン等の農機を農家全員が所有するのは難しいので、グループでやるというのは良い案。

(意見等)

連絡班、組の戸数について、大小さまざまである。戸数の違いにより、役員の持ち回り年数も差が出る。

連絡班や組の統合など、意見を出しにくい。個人が特定されないように意見を出せる仕組みを考えていただきたい。区長、連絡長、行政が集まり意見をまとめ、連絡班や組のあり方について考える場を設けたらどうか？

(村長)

常会については、自治会であるため基本的には行政が口を出してはいけない。昔ながらのこゝろを変えることに抵抗があるのは、農村地帯、村民気質の一つだと思う。何かを変えていく時には、本音の出にくさはネックになる。時代が変わっているんで、どこかで変えていかないと住みにくくなってしまうという危機感を感じている。

(意見等)

いちいの里の駐車場で、公用車が置いてある車庫側が暗いので、照明を増やしていただくようお願いしたい。

また、水曜日の休館日の表示を「休館日」ではなく、保健福祉課の窓口は通常どおり手続き可能である旨が分かるような表示の仕方に変えてほしい。

(村長)

いちいの里の照明と表示について、現場を確認し検討する。

(意見等)

15～16年位前に県外から引っ越してきたが、冬場の凍みを除けば、この村は居心地が良い。冬の寒さや雪かき等も、経験がない人たちにとっては魅力に感じるかもしれない。自分たちではデメリットとと思っていることが、Iターン等のアピールポイントになるかもしれない。

(区長)

区としても住みよい環境づくりをしていきたい。

(意見等)

住みやすい村だと感じているが、夏になると堆肥なのかフンなのか臭いが気になる。お互い様なのであまり言えないが、何か良い方法があればと思う。

(副村長)

確かに気になる時があるが、臭いは遮断ができないので難しい。

(意見等)

災害の時に、全部村に頼るのではなく、「白馬の奇跡」の例にあるように私たちもそういう姿勢でいなければならない。村でもそういった取り組みをしていただければと思う。

(副村長)

防災無線が聞きにくいということで、村でも試験をしている。

防災無線でお知らせする避難レベルや村から出ている情報が防災メールで確認できる。簡単に登録できるので、ぜひ登録していただきたい。

(意見等)

防犯灯LED化はいつになるのか？

(村長)

今年度中に完了の予定で進めている。

(意見等)

小学校の校庭と校舎の間の道から下大池公民館までの変差路が危険なので、制限速度を40キロから、30もしくは20キロに変えられないか？または、カラー舗装など、子ども自身が危険な場所であることを意識できるような対策ができないか？